

はじめに

市は、令和2年3月に福生市総合計画（第5期）を策定し、「人を育み夢を育む 未来につながるまち ふっさ」を都市像とする基本構想を策定し、「魅力的な都市環境を生み出す」ことを施策に掲げ、計画的な都市整備の推進を進めていくこととしております。

本施設整備計画では、施設を訪れるすべての人が、国籍や年齢、性別等に関わりなく有機的に繋がりが合い、自然と能動的な活動ができる場所となり、文化・芸術、スポーツ、保健などの様々な活動を通して成長していくことができる施設となることを目指し、様々な用途で活用のできるマルチスペースなどを設置した多目的な複合施設の整備を目指していきます。

施設整備における考え方

福生駅西口地区公共施設整備基本計画で示され施設整備の考え方を引き継ぎます。

- 1 各機能の調和
- 2 つなぎの空間づくり
- 3 全ての人々の利用
- 4 安全・安心・快適
- 5 地域との連携

各機能の整備方針

福生駅西口地区公共施設整備基本計画で示された4つの機能を方針とします。

- 1 スポーツ・アクティビティ機能
- 2 文化発信・交流機能
- 3 知的空間・創造機能
- 4 健康増進・子育て支援機能

整備スケジュール（予定）

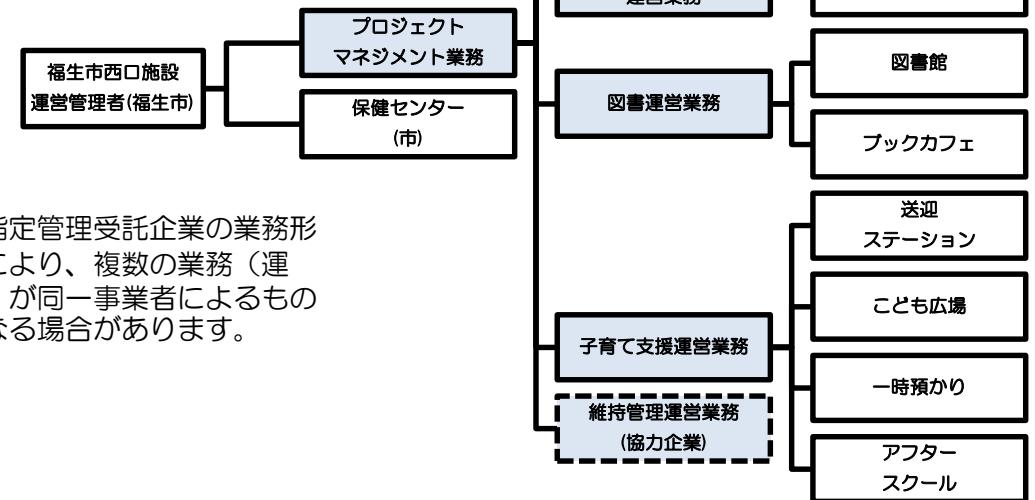
- 令和2年度・・・実施計画（設計の前提条件となる詳細計画）
方針・コンセプト・運営計画等
企画立案の条件等調査・整備方式検討
民間委託の条件整理・各委託業務の内容設定
都市計画決定手続き開始（決定は令和3年度中）
- 令和3年度・・・基本設計（以降は準備組合受託者による）
- 令和4年度・・・実施設計（各施設の運営・事業計画の策定）
- 令和5年度・・・解体・整地・建設工事開始
- 令和8年度・・・竣工・供用開始

※公共施設の整備には、民間整備の部分との調整が必要となり、その影響等により上記のスケジュールは変更される可能性があります。

施設運営のイメージ

本施設の運営・維持管理については、本事業の全体統括を担う団体をプロジェクトマネジメント団体として位置付け、指定管理者間における協議・調整をはじめ、市と指定管理者との協議・調整を行うプロジェクトマネジメント方式とします。

また、契約については市と指定管理業務を担う指定管理者団体と指定管理協定（書）を締結します。



※指定管理受託企業の業務形態により、複数の業務（運営）が同一事業者によるものとなる場合があります。

概算事業費について

- (1) 施設整備費（公共施設本体・駐車場）86.1億円
（財源：補助金等32億円 地方債38億円 基金6億円 一般財源10.1億円）

※ 公共施設本体の費用については、一般的な仕様（事務所相当）の内装費等を見込んだ金額です。その他の特殊な内装・設備・装置（舞台機能など）、及び什器・備品等の費用は含まれていません。

- (2) 施設維持管理運営費（年間） 8.5億円（指定管理費・維持管理費等）

※ 事業費（1）及び（2）については令和3年2月現在における概算事業費であり、今後の計画変更や設計及び事業整備の内容により変動があることを前提とします。

施設整備の機能の概要（機能抜粋）

機能		機能の概要
子育て支援機能	こども広場	0歳から小学校低学年までを対象とした、こども（親子）の居場所となる施設とする。
	一時預かり	日単位や時間単位での、乳幼児の一時預かり機能を備えた施設とする。
	アフタースクール	主に小学校低学年を対象とした放課後支援のためのスペース。従来の児童館機能だけでなく、地域の特性を活かした遊びと学びの場とする。
	送迎ステーション	未就学児を対象とした地域の保育園等へ駅前から送迎を行う。
保健センター		現在の市の保健センター機能同等の機能を整備する。
マルチスペース大(アリーナ)		マルチスペース大は、アリーナとしての機能だけではなく、他機能と共に交流拠点機能を構成する交流・多目的スペースとして位置づける。
マルチスペース中(ホール)		ホールは、段床形式を有する空間で、音楽、ダンス、演劇、芸能、集会など、幅広い利用に対応可能な客席300席程度の多目的ホールとし、必要な舞台装置、音響・照明・映像設備等を備える。
マルチスペース小		<ul style="list-style-type: none"> 市民の多様な文化芸術活動や生涯学習活動を支援するための諸室を設置する。 中高生の居場所となるような学習スペースを用意する。
図書機能	図書館	<ul style="list-style-type: none"> 図書館は「子どもから大人・高齢者が集い、学び憩える交流空間」として施設全体の機能をつなぐ役割として整備する。
	ブックカフェ	<ul style="list-style-type: none"> 図書館とブックカフェによる新たな市民サービスの展開を図る。
センターサークル		<ul style="list-style-type: none"> 複合施設全体のエントランスホールとして、目的に合わせて来館者が各施設に自然と導かれるよう工夫するとともに、ミニコンサートや各種イベントの開放利用を想定する。
行政連絡機能		<ul style="list-style-type: none"> 戸籍や住民票などの証明書等の発行のためのマルチコピー機を設置するスペースを設ける。 観光案内のポスター等を設置するスペースを設ける。

各機能の規模等

機能		概ねの規模(合計)	
スポーツ アクティビティ機能	マルチスペース(大)	1,300㎡程度	
	座席	600~800席程度	
文化発信・ 交流機能	マルチスペース(中)	300席程度(固定席)	
	ホワイエ	210㎡程度	
	マルチスペース(小)	舞台	250㎡程度
		リハーサル室	250㎡程度
		音楽スタジオ ダンススタジオ	160㎡程度
		創作スタジオ	80㎡程度
		会議室	90㎡程度
		学習室	100㎡程度
展示室	100㎡程度		
創造機能・ 知的空間	図書	閲覧スペース及び書架スペース	収蔵数8万5千冊程度 1,200㎡程度 (児童書を含む)
		ブックカフェ	500㎡程度
子育て支援機能	子育て支援	こども広場	200㎡程度
		一時預かり	適宜
		アフタースクール	220㎡程度
		送迎センター	40㎡程度
健康促進機能	※()内は合計の内数	保健センター	約1,000㎡
		予診	(約40~50㎡)
		診察	(約60㎡)
		歯科診察	(約45㎡)
		子ども相談	(適宜)
		栄養指導室	(適宜)
		休日診療所	(適宜)
行政連絡機能		行政窓口	適宜
		受付スペース	50㎡程度
その他		センターサークル	適宜
		駐車場	東京都駐車場条例設置台数以上
		駐輪場	福生市自転車放置防止条例設置台数以上

※駐車場の整備は民間部分の整備事業と共同での整備とし、附置義務台数以上の設置。
 ※駐輪場の整備は附置義務台数に概ね120台程度追加した数を目安とします。